



平成 19 年 10 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社 セキチュー
代表者名 代表取締役社長 関口 忠
(J A S D A Q ・ コード 9 9 7 6)
問合せ先
役職・氏名 経理部長 米田 健治
電話 0 2 7 - 3 4 5 - 1 1 1 1

平成 20 年 2 月期中間（連結・単独）業績予想との差異及び 通期（連結・単独）業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 2 月期（平成 19 年 2 月 21 日～平成 20 年 2 月 20 日）の業績予想について、平成 19 年 4 月 6 日付
当社「平成 19 年 2 月期決算短信（連結）」及び同日付当社「平成 19 年 2 月期個別財務諸表の概要」に
て発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成 20 年 2 月期 連結業績予想の修正等

(1) 中間期（平成 19 年 2 月 21 日～平成 19 年 8 月 20 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想（A）	21,870		425	120	10 円 76 銭
今回修正（B）	21,839	569	721	60	5 円 47 銭
増減額（B - A）	31		296	60	
増減率	0.1%	%	69.8%	49.2%	

(2) 修正理由

売上高につきましては、概ね当初予想どおり 218 億 3 千 9 百万円（当初予想比 0.1% 減）の見込みであります。「DIY 用品」のうち木材、工具、塗料、農業資材が好調に推移しました。「家庭用品」のうち介護用品は好調に推移しましたが、家電品は苦戦しました。「カー用品・自転車・レジャー用品」のうち自転車専門店が好調に推移しましたが、カー用品は苦戦しました。

経常利益につきましては、売上総利益の確保に努め、商品在庫の管理により棚卸ロスの削減、また、販売費及び一般管理費は物流費、水道光熱費、広告宣伝費の効果的使用を行い削減に努めた結果、7 億 2 千 1 百万円（当初予想比 69.8% 増）となる見込みであります。

中間純利益につきましては、上記の理由等により大幅な収益改善となりましたが、平成 19 年 3 月の税効果関連の実務指針等改定への対応として繰延税金資産の取扱いを検討した結果、役員退職慰労引当金等に係る繰延税金資産について 1 億 8 千 5 百万円の取崩しを行ったことにより法人税等調整額が増加することから 6 千万円（当初予想比 49.2% 減）を見込んでおります。

(3) 通期(平成19年2月21日~平成20年2月20日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	43,100		760	120	10円76銭
今回修正(B)	43,100	800	1,000	50	4円48銭
増減額(B-A)	0		240	70	
増減率	0.0%	%	31.6%	58.3%	

(4) 修正理由

売上高につきましては、引き続き「DIY用品」に注力し、きめ細かな品揃え、地域密着の品揃えを強化し、当初予想どおり431億円を見込んでおります。

経常利益につきましては、更なる売上総利益の確保に努めると共に、販売費及び一般管理費の管理を徹底し削減に努めます。当初予想を2億4千万円増額し、10億円(当初予想比31.6%増)となる見通しであります。

当期純利益につきましては、上記の理由等により収益は大幅な改善になる見込みであります。平成19年3月の税効果関連の実務指針等改定への対応として繰延税金資産の取扱いを検討した結果、役員退職慰労引当金に係る繰延税金資産について1億8千8百万円の取崩しを行ったことにより法人税調整額が増加することから5千万円(当初予想比58.3%減)となる見込みであります。

(5) ご参考:前期の実績(平成18年2月21日~平成19年2月20日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間(当期) 純利益	1株当たり 中間(当期) 純利益
中間期	23,402	490	682	44	3円97銭
通期	45,347	813	1,161	168	15円15銭

2. 平成20年2月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期(平成19年2月21日～平成19年8月20日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回予想(A)	21,870		425	120	10円76銭
今回修正(B)	21,839	565	719	59	5円34銭
増減額(B-A)	31		294	61	
増減率	0.1%	%	69.2%	50.4%	

(2) 修正理由

上記連結業績予想と同様の理由によるものであります。

(3) 通期(平成19年2月21日～平成20年2月20日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	43,100		760	120	10円76銭
今回修正(B)	43,100	800	1,000	50	4円48銭
増減額(B-A)	0		240	70	
増減率	0.0%	%	31.6%	58.3%	

(4) 修正の理由

上記連結業績予想と同様の理由によるものであります。

(5) ご参考:前期の実績(平成18年2月21日～平成19年2月20日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間(当期) 純利益	1株当たり 中間(当期) 純利益
中間期	23,402	476	670	51	4円65銭
通期	45,347	805	1,154	173	15円54銭

以上